

木木是好日

きぎ・これ・こうじつ

都市部から地方へ移り住み、地域課題の解決やさらなる活性化のために活動する「地域おこし協力隊」。日頃の取り組みの様子やその思いを、皆さんにお伝えします。

Vol. 6 「この半年を振り返って」

地域おこし協力隊6カ月目。早いもので、もう半年が過ぎました。

暖かくなり、日も伸びてきたので、作業もやりやすくなりました。

ここまでの課題

この半年間、活動しながらいろいろなことを考えていました。

まずは木工所の機械をどのように配置するか。これは、実際に機械を使いながら一番使いやすい配置を考えていこうとしているので、現在は作業と片付けをしつつ、大きく配置換えをしています。

次に、製材について。機械の扱いにも慣れてきて、改善点も見えてきた気がしています。これからいろいろ試していこうと思います。

そして、木工所と製材作業の両方が出る「おが屑と「樹皮」の有効利用について。これは相変わらず大きな課題となっています。燃料にするのが一番良いのですが、それには設備が必要になってきます。特に樹皮

が厄介な問題です。

「腐葉土」という活用方法

おが屑と樹皮の有効活用として考えられるのが「堆肥」です。

最近、ホームセンターで売られている腐葉土が東南アジア産だったり中国産だったりすることをご存じでしょうか？このことを初めて知った時は、腐葉土まで輸入するのかと驚いた覚えがあります。外来種の虫や卵の混入も心配です。

そこで、秋に落葉を集めて、おが屑や樹皮(ある程度細かくしたものを混ぜながら、川根産の腐葉土(堆肥)が作れないものかと本気で考えています。ヒノキやスギのおが屑・樹皮は分解に時間がかかりますが、製材加工をしているかぎり出続けるものなので、何かに活用しないと解決しない問題でもあります。腐葉土・堆肥の作り方や落葉の確保について、またその他の樹皮の利用方法など、アドバイスをい

ただけたらうれしいです。

エコティでも活動中

先日、エコティかわねのイベントとして「テーブル作り」の第1回目が開催されました。これは、伐採から製材、乾燥期間を経て、1年がかりでテーブルを作るという企画です。今回は、全5回のうちの初回として伐採体験を行い、町内外から8組の方々に参加していただきました。もちろん自分ひとりでは心もとないので、森林組合の皆さんにスタッフとしてお願いしました。そのおかげで「わかりやすい説明でとても楽しかった」と、参加者の皆さんにも満足していただけたようでした。今回伐採した木材は、これから葉枯らしして搬出し、製材、加工を行います。

● 鈴木 健二 すずき・けんじ

神奈川県逗子市出身。東京、静岡の石油販売会社に勤務したのち、個人で間伐と木工の仕事を開始。協力隊として、桑野山貯木場で製材・木工機械の管理と、地域の木材の利活用促進に向けた「木」や「森林」に携わる活動に取り組む。最近の関心は、古民家や農業のほか、少し昔の時代のくらしや道具など。前居住地は静岡市清水区。

